



No.309
2020年 2月21日

江東区労連 ニュース

江東区労働組合総連合
〒135-0011 江東区扇橋 1-12-20
江東教育会館内
Tel.03-5606-5285 Fax.03-3649-0131



100人を超える人が集まった旗開き (20/01/27)

旗開きは最後に矢澤副議長の

お楽しみ抽選会では議長賞・未組織対策委員会賞・女性部青年部賞・労金賞などたくさん賞品が並び、「当たり」券が発表される「やったー」と次々に賞品を受け取っていました。

江東区労連は1月27日、東京土建江東支部会館で「2020年新春旗開き」を開催し、30労組・団体から101名が参加しました。

公共一般・丹木さんのグループの太鼓でオープニング。第1部は加藤事務局長が司会。佐伯区労連次長のあいさつと東京地評・柴田副議長のあいさつの後に内田副議長の音頭でさつそく乾杯、交流の輪が広がります。引き続き、

来賓のあいさつを受けます。第2部は司会を青年部の松丸圭司さんと諸隈智子さんにバトンタッチ。再び丹木さんのグループによる太鼓と区労連女性部のコラボで踊りが会場内で広がり、続いてJAL争議団の細井さんの二胡による優雅な演奏を聞き入りました。最後はいろそら合唱団のコーラスで盛り上げました。続いて清水副議長がJAL争議団・細井さん、明治乳業

安倍9条改憲！春闘勝利で暮らしアップ！ 江東区労連新春旗開きで春闘スタート

の閉会あいさつと佐伯議長の音頭で「団結がんばろう」を三唱してお開きとなりました。

(紙面で紹介できなかった来賓のみなさん)江東民商会長・豊田さん、東部法律事務所弁護士・岩本さん、日本共産党江東地区副委員長・小堤さん、あぜ上野山さん、全印総連中央地区協・大塚さん。



ヒアリングで切実な要求を述べる参加者 (20/01/23)

自治体キャラバン・対区ヒアリング 自治体に要求ぶつける！

【自治体キャラバン16】東京春闘共闘会議は1月17日、江東区との自治体キャラバンを

実施しました。組合側からは12名、区側からは担当課長など4名が出席しました。

自治体で働く臨時・非常勤職員の待遇改善、公契約条例の制定、中小企業労働者の労働条件の向上や福利厚生・地元企業の振興などについて意見を交わしました。

【2020年度対区予算要求ヒアリング】区民要求実現江東大運動実行委員会は1月23日、20年度予算要求に基づくヒアリングを実施し、実行委員会から13団体30人、区側担当者から35名が参加して行われました。

保育園・学童クラブ等の民間委託化等基本的なスタンス

に大きな変化はありませんでしたが、いくつかの具体的な課題では前進的な回答もありました。いくつかを紹介しましょう。

自治体非常勤職員の会計年度任用職員化に関わり、賃金体系が正規の職員に合わせる中で、マイナスイメージに伴う引き下げについては「引き下げはしない」と言明しました。

江東若者仕事センターでは実際に求人1367名に対して566名の就職が決まったこと、若年だけでなく幅広く女性の雇用を増やしたと回答しました。

ハザードマップを全戸配布するようにとの声には「台風19号を契機として全戸配布を含め効果的な周知方法を検討」として事実上全戸配布に踏み切る方向を打ち出しました。

江東区労連からのお知らせ

★2・28地域総行動(2月28日(金))

早朝駅頭宣伝

東大島・東陽町 (7:30-)
西大島・木場・辰巳・新木場 (8:00-)

2・28怒りの江東区民集会

開会…18:45～(18:00開場)
会場…猿江公園(北側時計台前)
デモ…19:30出発⇒亀戸文泉公園

★江東区労連第9次一斉組織化宣伝行動

日時…3月 5日(木)
駅頭…東大島・東陽町 (7:30-)
亀戸・辰巳・新木場 (8:00-)

★第176回憲法9条守ろう・9の日宣伝行動

日時…3月 9日(月)
駅頭…東大島・東陽町 (7:30-)
亀戸・西大島・木場・辰巳・新木場 (8:00)

★国民春闘勝利3・19木場昼デモ

日時…3月19日(木) 12:20開会
会場…木場公園(南側)
デモ…12:30出発⇒アサガミプレスセンター

各労組でも旗開きでスタート

1月は加盟労組の旗開きが続きます。日本機関紙印刷所労組・江東区職労・日の丸自交労組・アサガミプレスセンター労組・不二タクシー労組・東京土建江東支部・全印総連中央地区協、江東民商新春のつどい、東部法律事務所新春のつどいに参加してきました。



江東区職労の旗開き・オープニングで披露された銭太鼓の演奏(20/01/09)



アサガミプレスセンター労組の旗開きは超豪華賞品があたるゲームが定番(20/01/10)



1500円Tシャツを着て講演する黒澤さん(20/2/17)

ユニオンパワーで全国一律最賃実現を！ 20江東国民春闘共闘委員会発足・学習会

20江東国民春闘共闘委員会発足・学習会が2月17日に開催され14労組38人が参加しました。

開会に先立ち佐伯江東区労連議長が「大企業の内部留保を活用して最賃引き上げで大幅賃上げを勝ち取る」とあいさつしました。続いて加藤区労連事務局長が20江東国民春闘方針・役員案を提案して、3つの組合から報告を受けました。東京土建江東支部・名越さん「オリパラで仕事は増えたが大手ゼネコンばかり利益を上げ賃上げにつながらない。劣悪な賃金では若者が集まらない。大幅賃上げを、公共一般江東支部・佐藤さん「4月1日に会計年度任用職員に移行するにあたり不

利益変更のないように区と交渉。正規が人勧で賃下げになるなかでそれを阻止した」、全印総連東伸社労組・古川さん「人手不足で長時間労働が多い。声を上げる中で改善を実現できた。パート社員と正規の格差をなくしたい」などと報告しました。最後に全労連黒澤事務局次長が「20国民春闘、公正・公平な社会をめざして」と題して記念講演しました。黒澤さんは、パワーポイントを使い、参加者にも「どうしたら賃上げできるか?どうしたら時短ができるか?」など参加者と一緒にトークしながら講義を

進めました。労働組合組織率の低下と賃下げが並行して進んでいるとして、大幅賃上げ実現は「内部留保を賃金に回せ・組合を大きくする」ことだと述べました。内部留保については社会的規制をして最賃引き上げに回せというところまで大切。今、自民党にまで最賃議連が出き、全労連が講師に招かれている。生計費調査では、佐賀県でも東京都でも1か月に必要な賃金の時給は1600円程度と変わらない。実際には最賃は223円も開いているのは異常だ」と述べ最後に幹部請負型の春闘でなく組合員と一緒に参加する春闘をと結びました。最後に最賃と公契約条例に関連して補強意見を取り入れ、全体の拍手で江東春闘方針案を確認、佐伯議長の開会あいさつと「団結がんばろう」で閉会しました。

トピックス

■江東区労連第4次対話と共同労組訪問行動

江東区労連は1月21日、5労組5名が参加して区内2コースで24労組を訪問して春闘や憲法署名等を持って懇談を行いました。

■江東区労連第8次組織化宣伝行動

江東区労連は1月22日に区内5駅で6団体34名が参加して組織化宣伝・ホットラインリーフレットを1350部配布しました。

労働相談の窓口から

「アドバイス」離職票は失業給付を受けたり、教育訓練などを受けるうえでも必要な書類。ハローワークに行つて事情を説明すれば「資格喪失確認請求」をして、職権で離職票を発行してくれることもできる。うまくいかなければ労働組合でも対応すると応えた。

◇
■休日労働の移動時間の賃金が半分しか認められない(組合員・男性・正規)

自宅から直行ではなく、会社に出勤して資材倉庫に行き材料をピックアップして現場に行くようなので、移動時間も労働時間として認められる。賃金を半分しか支払わないのは違法。休日労働(法定)ではさらに35%の割増賃金を支払う必要があると答えた。

◇
■残業拒否は可能か(組合員・女性・正規)

出向先の労働時間が30分長いために、毎日30分が残業になる(未払いはない)。これを拒否できるか?

「アドバイス」就業規則で残業が業務命令になっていると拒否できないと明示してある場合には、体調悪化・親や子の介護等の特別な理由がないと、例えばプライベートな理由では拒否はできないとされている。なお36協定が締結されていない等の違法な場合は拒否することができる。

退職に関する相談も目立ちます。東京都労働相談情報センターなどには「退職代行サービス」に依頼したが、うまくいかないといった相談もあるようです。ネットで検索すると「退職代行サービス」が非弁行為とされないように「労働組合化」して「交渉」や「賃金未払い」なども団体交渉でできると宣伝しているところも少なくありません。「労働組合」がビジネスになっているのは忤怩たる思いです。

◇
■離職票を発行してくれない(全労連ホットライン・男性・正規)

カフェの店員。本来は11月で退職するところ、待つてほしいと言われ、今年の3月末退職で合意していた。ところが、別のカフェを見学したことが社長にばれて、居心地が悪く、12月末で退職届を出したが、会社が退職妨害で離職票を発行してくれないで困っている。